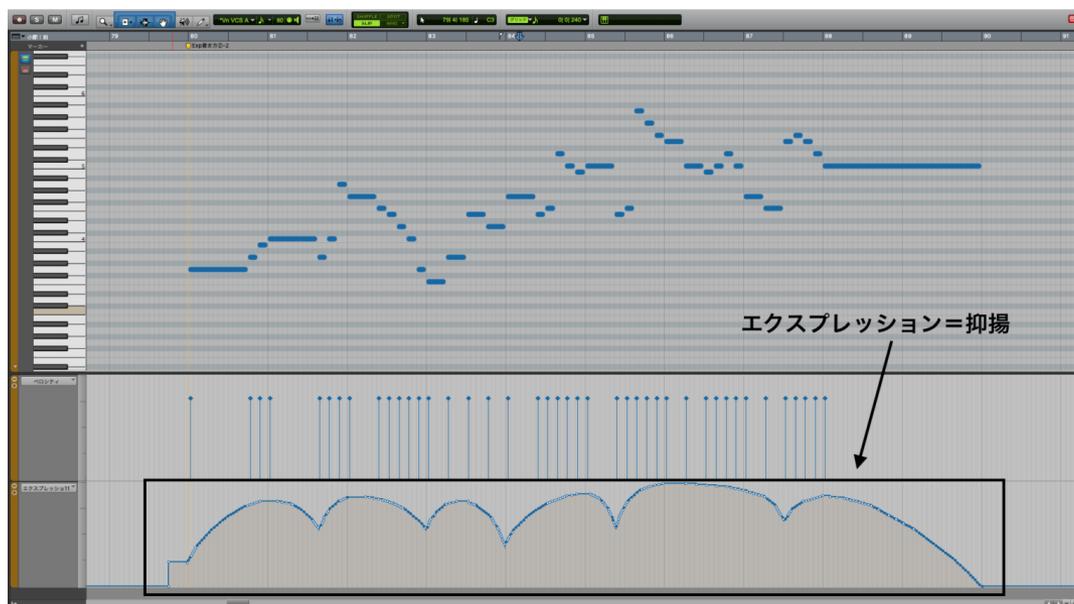


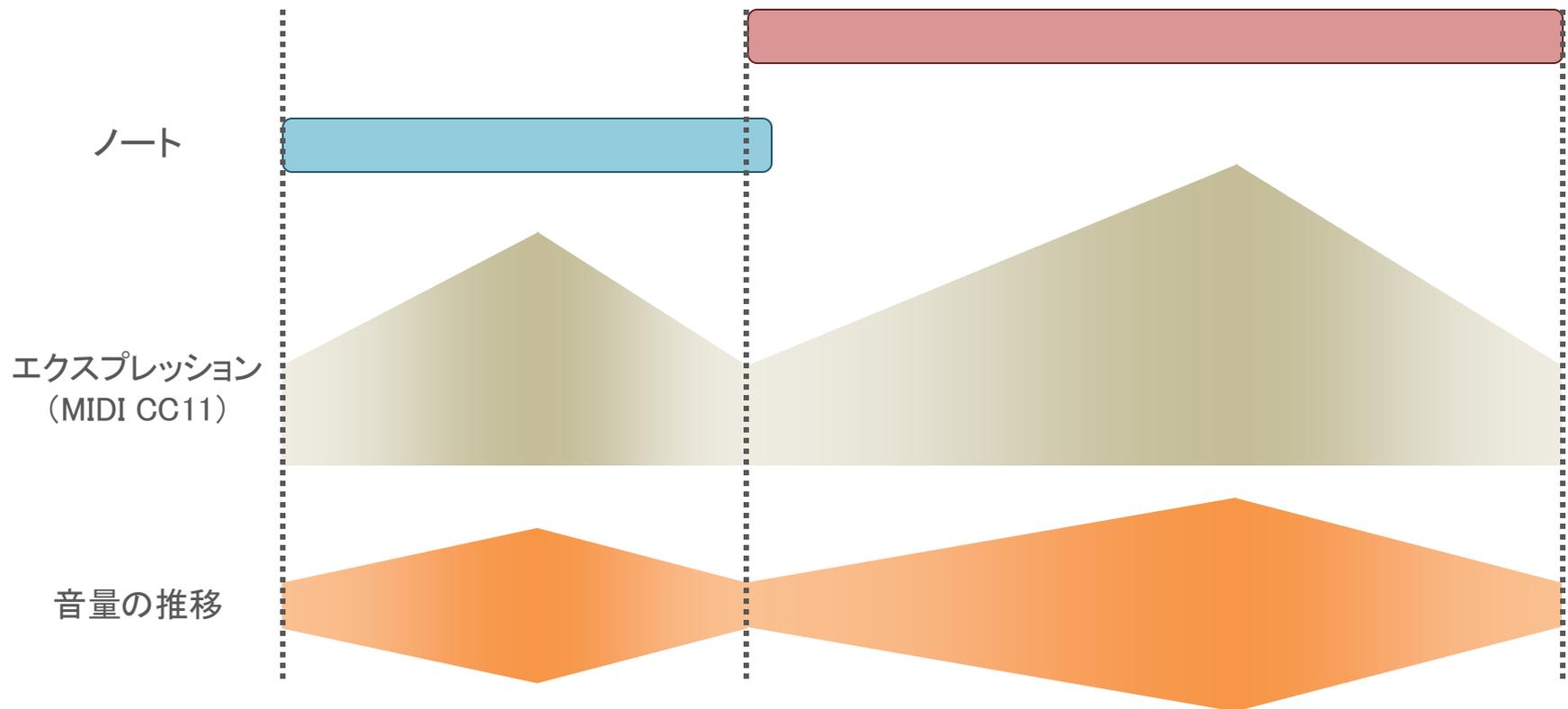
3-4 ホーンセクションの エクスペレッション

エクスプレッションの基本

音の抑揚をコントロールするパラメータ。ベロシティとは違い、打鍵時のみならず発音中も断続的に音量をコントロールできるのが特徴。クレッシェンドやデクレッシェンドなど、発音中に音量をコントロールしたい場合は、原則としてエクスプレッションを使用する。(音源によってはモジュレーションホイールを使うことも。)



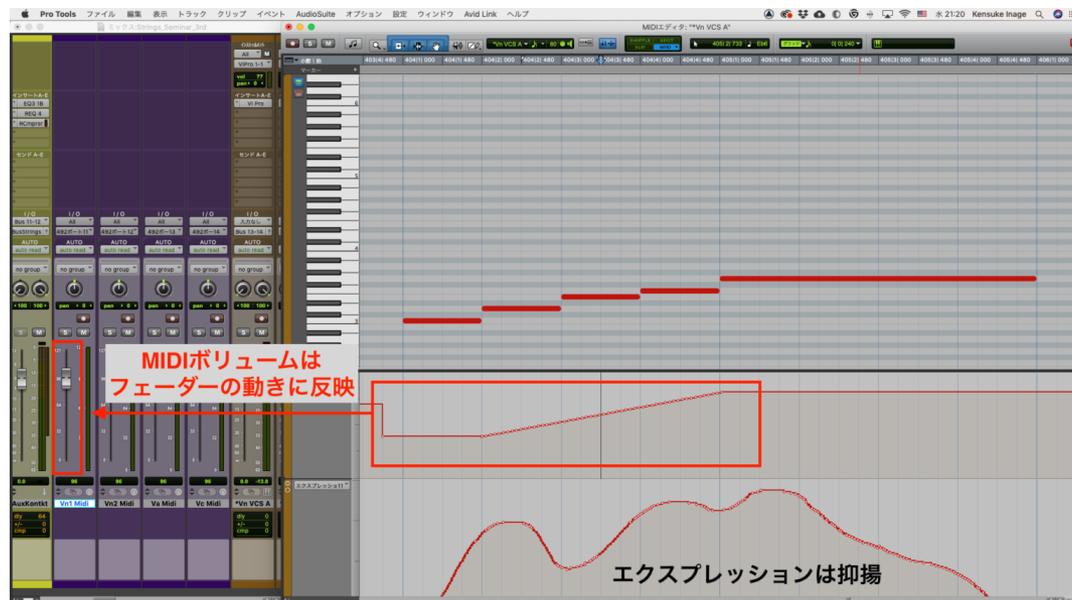
エクスプレッションの効果



エクスプレッションの効果

エクスプレッションはトラックの音量をコントロールすることでフレーズの抑揚を表現するもの。MIDIボリュームと混同しがちだが、それぞれ以下の役割で使用する。

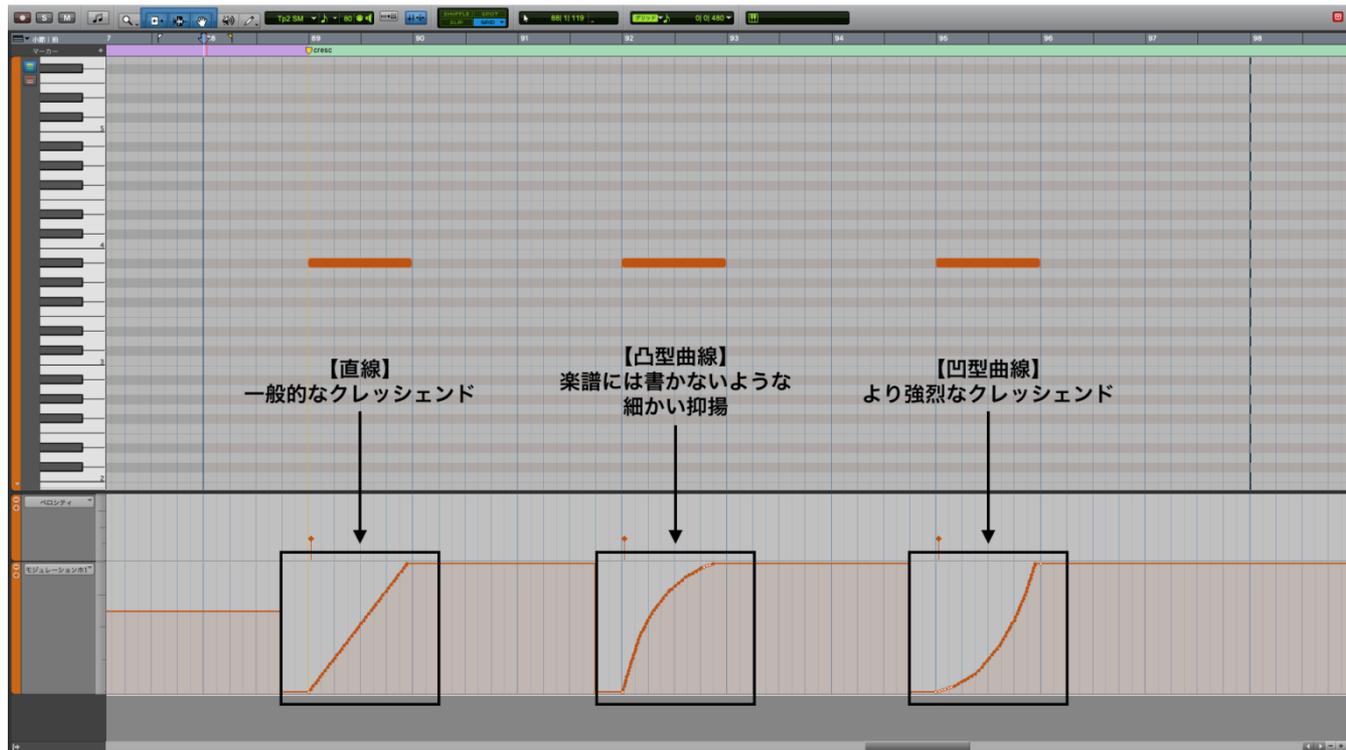
- MIDIボリューム (MIDI CC#7) = 各トラックのフェーダーバランスを調整するもの
- エクスプレッション (MIDI CC#11) = トラック内の抑揚をコントロールするもの



ホーンセクションでよく使う エクスペレッション活用法

クレッシェンドとデクレッシェンドの表現

エクスプレッションによる抑揚の表現といえば、やはり「クレッシェンド」と「デクレッシェンド」。エクスプレッションカーブの形状によって得られるサウンドに違いが出るため覚えておこう。



フォルテピアノ～クレッシェンドの表現

ホーンセクションでよく使われる表現のひとつとして、フォルテピアノ～クレッシェンドがある。フォルテで力強く発音したあと即座にピアノまで音量を落とし(fp)、そこからクレッシェンドするテクニック。ここぞというポイントで効果的に活用しよう！

フォルテピアノ (fp) = フォルテから即座にピアノまで減衰する奏法

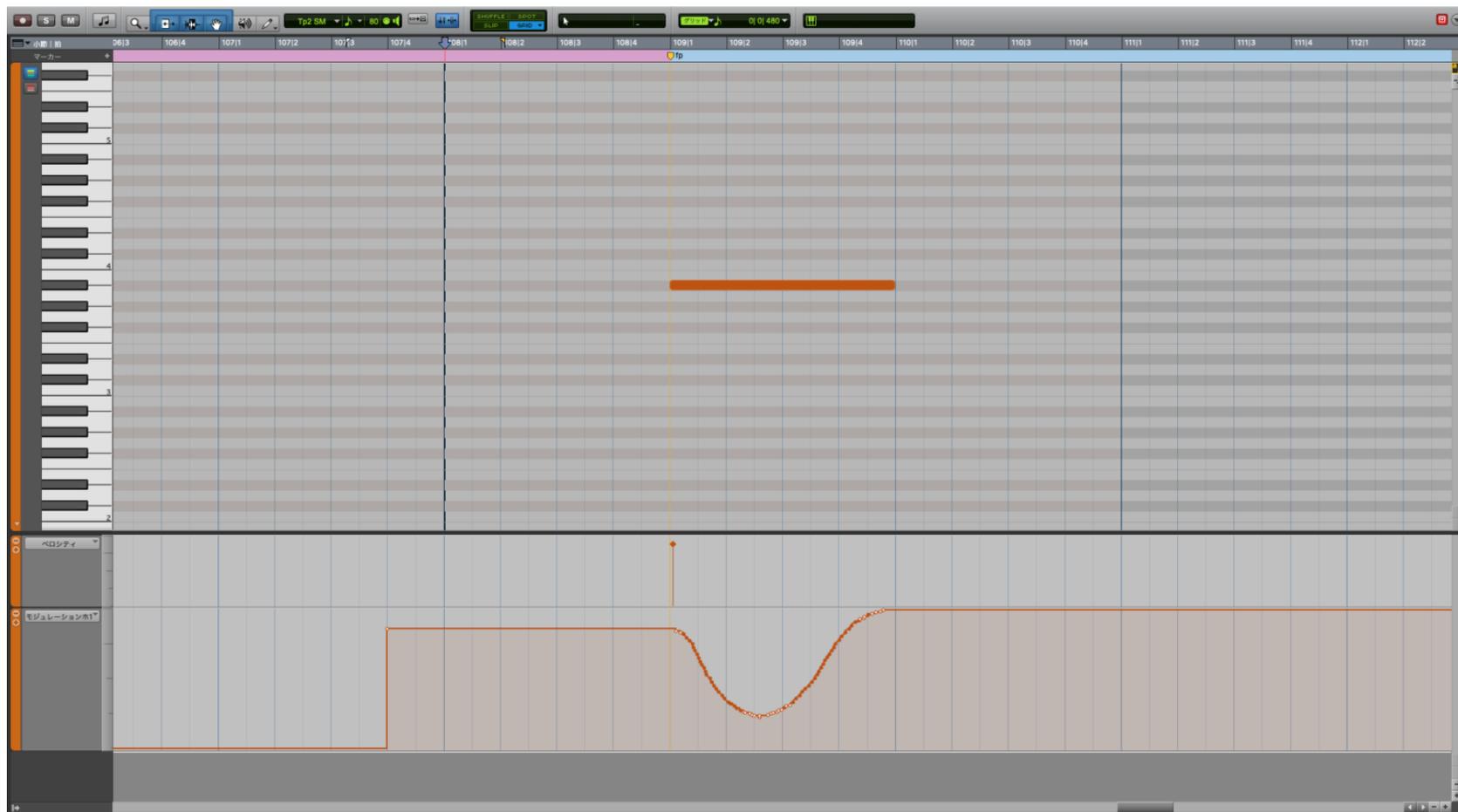
The image shows a musical score for four instruments: Trp.1, Trp.2, A. Sax, and Tb. The score is in 4/4 time and features a dynamic shift. It begins with a *mf* (mezzo-forte) dynamic. A red box highlights a section where the dynamic changes to *fp* (fortepiano) and then crescendos to *ff* (fortissimo). The notation includes various articulations such as accents and slurs. A box labeled 'A'' is positioned above the first measure of the Trp.1 staff.

©OTO×NOMA ©TEMPEST STUDIO

©OTO × NOMA ©TEMPEST STUDIO

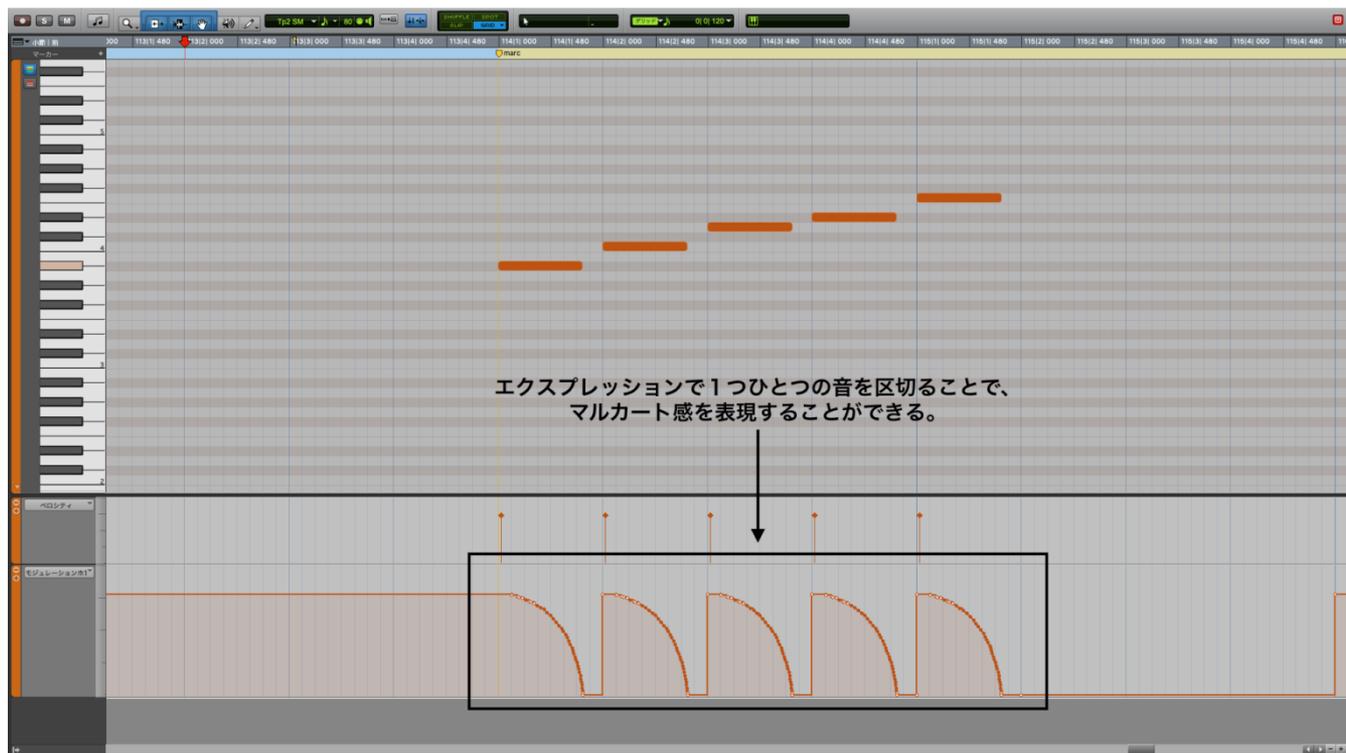
OTO×NOMA

フォルテピアノ～クレッシェンドの表現



マルカートの表現

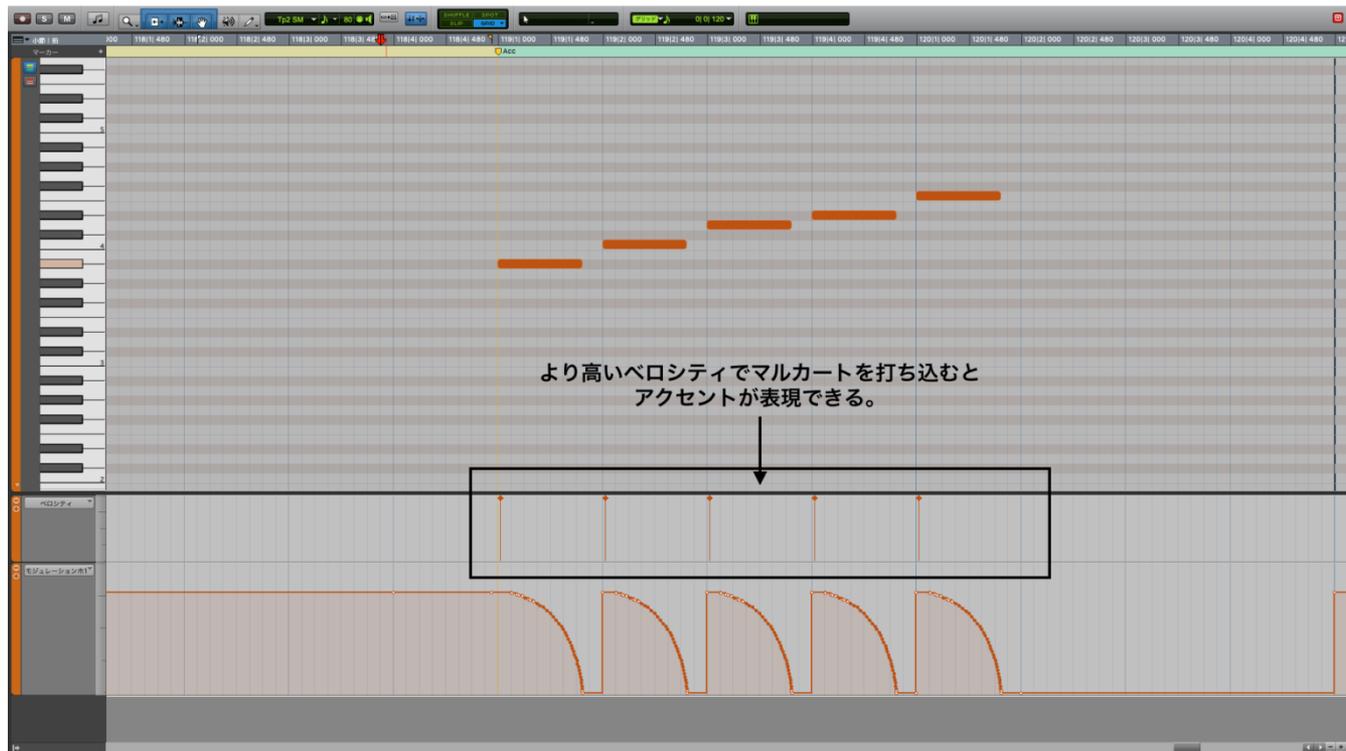
マルカートとは1つひとつの音をはっきりと演奏する奏法のこと。歯切れの良い明瞭なフレーズを演奏するためには欠かせないものとなっている。マルカートを表現するには、1つひとつの音をエクスペッションで明確に区切って打ち込むと良い。



エクスペッションで1つひとつの音を区切ることで、マルカート感を表現することができる。

アクセントの表現

前述したマルカートの表現方法を応用してアクセントを表現することもできる。アクセントとは、いわば「アタック感の強いマルカート」のようなもの。マルカートの表現に加えて、ベロシティによるアタック感をプラスすることで簡単に実現できる。



テヌートの表現

マルカート状態からエクスペッションを完全に除去することでテヌートを実現できる。タンギングによる音のスキマができることを考慮して、1つ1つの音にインターバルを設ければ、それだけでテヌートの打ち込みが完成する。

タンギングによる音のスキマもきっちり表現しよう。

それぞれの音を十分に保つため、
エクスペッションはあえて書かずとも良い。

The screenshot shows a piano roll with a keyboard on the left and a piano roll grid on the right. A horizontal orange line represents a sustained note. Four black circles are placed along this line, with arrows pointing to them from the text above. Below the piano roll, a black box highlights a section of the piano roll grid, with arrows pointing to it from the text below. The piano roll grid has a time axis at the top with markers every 480 samples (000, 123:11:480, 123:22:000, 123:32:480, 123:43:000, 123:53:480, 124:04:000, 124:14:480, 124:25:000, 124:35:480, 124:46:000, 124:56:480, 125:07:000, 125:17:480, 125:28:000, 125:38:480, 125:49:000, 126:00:000).